

「原料費調整制度」等による適用ガス料金の調整について (2024年10月検針分)

武州ガス株式会社は、「原料費調整制度」等に基づき、2024年10月に適用する1 m^3 当たりの単位料金を、2024年9月検針分に適用の料金に比べ2.23円(消費税込)上方に調整させていただきます。調整は、検針月の5か月前から3か月前まで(中2か月)の3か月平均の原料価格変動額に応じて行うもので、2024年10月検針分の単位料金は、2024年5月から2024年7月の平均原料価格に基づき算出しました。

また、「酷暑乗り切り緊急支援」実施に伴い値引き(1 m^3 あたり税込み17.5円)が反映されております。この結果、1か月に32 m^3 (45MJ/ m^3)のガスをお使いになる標準家庭で、2024年9月検針分に比較して、71円(消費税込)ガス料金が上がります。

供給約款料金表

(消費税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (円/月)	単位料金 (円/ m^3)		基準単位料金 (円/ m^3)
			2024年10月適用 単位料金(円/ m^3)	2024年9月適用 単位料金(円/ m^3)	
料金表A	0 m^3 から20 m^3 まで	814	194.32	192.09	160.00
料金表B	20 m^3 をこえ50 m^3 まで	1,329	168.52	166.29	134.20
料金表C	50 m^3 をこえ200 m^3 まで	1,632	162.47	160.24	128.15
料金表D	200 m^3 をこえ450 m^3 まで	3,214	154.57	152.34	120.25
料金表E	450 m^3 をこえ750 m^3 まで	5,402	149.69	147.46	115.37
料金表F	750 m^3 をこえるもの	10,847	142.45	140.22	108.13

※2024年9月適用単位料金より1 m^3 につき税込17.5円の政府支援を踏まえた値引きがされております。

詳細は経済産業省の「電気・ガス料金支援サイト」をご覧ください。

(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/>)

標準家庭における影響

(消費税込)

1か月のご使用量	2024年10月検針分の料金	2024年9月検針分の料金	影響額
32 m^3 (45MJ/ m^3)	6,721円	6,650円	71円

原料価格の変動

基準平均原料価格 (a)	34,700 円/t
2024年5月～2024年7月の 平均原料価格 (b)	95,150 円/t
LNG価格	93,830 円/t
LPG価格	97,380 円/t
差 額 (b-a)	60,450 円/t

[参 考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を調整する制度です。
- ・ 基準平均原料価格(34,700円/t)と「平均原料価格(料金適用月の5か月前から3か月前の3か月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³当たり0.0858円(0.078円に1.10(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。□

単位料金調整額の算定方法

- ・ 平均原料価格の算定

	LNG平均価格	(貿易統計ベース)	93,830 円/t	×	0.9608
+	LPG平均価格	(貿易統計ベース)	97,380 円/t	×	0.0513
			95,147.458 円		
			↓ (10円未満四捨五入)		
			95,150 円/t		

- ・ 原料価格変動額の算定(基準平均原料価格 34,700円/tからの変動額)

$$95,150 \text{ 円/t} - 34,700 \text{ 円/t} = 60,450 \text{ 円/t}$$

↓ (100円未満切り捨て)

$$60,400 \text{ 円/t}$$

- ・ 単位料金調整額(1m³当たり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = 60,400 \text{ 円/t} \div 100 \text{ 円} \times 0.0858 = 51.8232 \text{ 円}$$

↓ (小数点第3位以下切り捨て)

$$51.82 \text{ 円}$$

激変緩和対策 1m³あたり -17.5円を反映 = **34.32 円**